

抗がん剤投与患者さん、ご家族（介護者）の安全管理について

抗がん剤は投与後しばらくの間、尿や便に残ります。

尿や便などに直接触れても健康に害を及ぼすようなことはまずありません。

できる範囲で結構ですので以下の対策をお取りください。

<対策を取る期間について>

- ・ 抗がん剤（注射）投与後2日間対策をお取りください。3日目以降は特別な対策は必要ありません。
- ・ 内服の抗がん剤等で連日服用するお薬に関しては、最終内服日から2日後まで下記の対策をお取りください。
- ・ 下記の抗がん剤を投与されている場合は7日間対策をお取りください。

アドリアシン（ドキシル）、エンドキサン、オンコビン、シスプラチン、ドセタキセル、ナベルビン、ノバントロン、ベプシド、メトトレキサート、5-FU

<日常生活の注意>

- ・ 可能ならば男性の方も、便座にこしかけて排尿してください。
- ・ 尿がこぼれた場合は、トイレトペーパーできれいにふきとってトイレに流してください。
- ・ 使用後のトイレは、トイレのふたをして水を流してください。このとき水を2回流したほうがよいでしょう。
- ・ 出血した時はトイレトペーパーできれいにふきとりトイレに流してください。
- ・ トイレの後や血液が手に付いた場合は石鹼で手をよく洗ってください。



<排泄物（尿、便）、嘔吐物についての注意>

- ・ ストーマ用品や、オムツなどの処理は手袋を着用して行ってください。ビニール袋に入れ、密閉して一般ごみとして廃棄してください。手袋を外したあとも手を洗いましょう。
- ・ 排泄物が皮膚についたら、直ちに水道水で十分に洗い流し、石鹼で洗いましょう。
- ・ 排泄物、嘔吐物の付着部位に異常が現われたらすぐ診察を受けてください。

<排泄物、嘔吐物が付着した寝具、衣類等の取り扱い>

- ・ 排泄物、嘔吐物で汚れた洗濯物は2度洗いしてください。1回目は単独で水洗い（予洗い）し、2回目に通常の洗濯をしてください。
- ・ 汗は通常の量では対策はいりませんが、大量の汗をかいている場合は、上記の対策をお取りいただくほうが良いでしょう。